

企業誘致に弾みを

県と市が新工業団地造成

ここ数年、企業の誘致などで求人数は多くなってきたが、依然として高校卒業者等の地元就職率は五〇%前後と低迷しています。地域の活性化を考える場合に、若者の存在は欠かすことができません。若者が定着するまち、活気あるまちにするためには、魅力ある企業が地元で数多くあることが望まれます。それを実現させるため、企業が進出しやすい環境づくりの一つとして、工業団地の造成に取り組んでいます。

2つの工業団地はすでに満杯

市には、昭和四十九年に県が造成した大館工業団地(二井田)と、昭和六十二年に鉱山関係の遊休地を利用して市が造成した花岡工業団地の二つの工業団地があります。

大館工業団地は、用地面積約二十六万四千平方メートルで、昭和六十三年に完成し、現在四社が操業しています。また花岡工業団地は、用地面積約九万一千平方メートルで、平成元年に完成。現在、四社が操業し、一社が建設中です。

この二つの工業団地が、その用地をすべて完成したため、市

では、平成元年度から新たな工業団地の造成に着手しています。

二井田が大館の工業の拠点に

市は、平成元年度から四カ年計画で大館工業団地の北西側の隣接地に二井田工業団地を造成しています。現在は一部の用地買収と整地作業等を行っています。総事業費は約七億六千六百万円、用地面積は約十七万四千平方メートルです。

この面積のうち三万六千四百平方メートルについては、コンクリート製品等を生産する北越ヒューム(株)が自社開発で造成したもので、同社は平成二年から操業を開始しています。このほかに、印刷機

フレーム等を生産する東北キヤスティング(株)と、照明鉄塔等を生産するテック大洋工業(株)の二社の進出が決定しています。

また県でも、今年度から五カ年計画で、大館工業団地の西側の隣接地に大館第二工業団地を造成する予定です。具体的な計画はこれからですが、用地面積は約五十四万平方メートルを見込んでいます。今年度はボーリング調査を予定しています。

大館・大館第二・二井田の各工業団地が完成すると、総面積は約九十七万八千平方メートルになります。これは長根山野球場が約五十八個も入る広さです。



またさらに、市では今年度から花岡工業団地も拡張する計画です。

魅力ある企業の誘致に努力

工業団地の造成は、企業が進出しやすい環境づくりの一つです。市では、今後も工業団地の造成を進めるとともに、男子型企業、先端技術産業の企業など若者に魅力ある企業の誘致に力を注いでいきます。

市長メモ



最終回

お世話になりました

長いようで短い、短いようで長い十二年間。公私にわたりお寄せ頂きました市民の皆様のご指導、ご厚情、衷心よりお礼申し上げます。

市政の主人公は市民であることに徹し、常に市民の生命、財産を守り、発展させるために自身の努力をしてきました。しかし、力不足は否めず、期待にこたえ得なかったことも多かったですと存じます。

今後の市政に「平和の原点は日常生活の中から」、「市政の執行者である職員への先行投資」、「地方分権の拡大と財政確立に際限はない」。この三点を引き継ぎたいと思います。

今年市制施行四十年、そして新総合開発計画スタートの記念すべき年でもあります。

市民の皆様のご健康と限りないご発展を、またその結果としての大館市の繁栄を祈念申し上げます。

長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

モモの履歴簿